



KIZUNA

資源の絆 ニュースレター

2024年 12月号 発行:独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

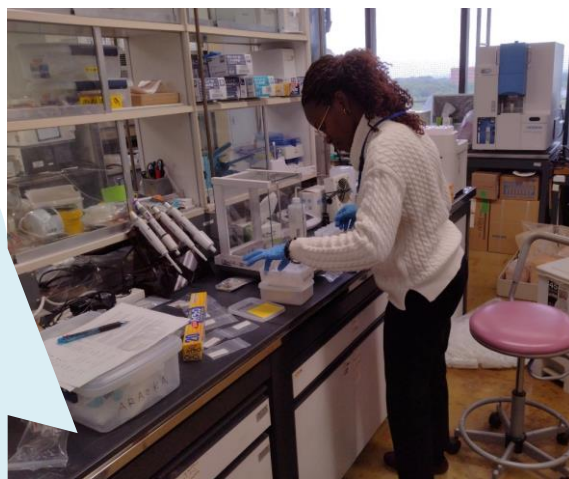
絆生によるインターンシップ実施のご報告

資源の絆プログラムでは、大学での学位(修士・博士)取得のみならず、資源に関わる実践的知見も習得すべく、企業や研究機関等におけるインターンシップを実施しています。この度、1名の研修員がインターンシップを実施しましたので、ご報告いたします。

● Ms. Mary Charles Moshi / 産業技術総合研究所 地質調査総合センター(GSJ)

23A*の Mary Charles Moshi さん(秋田大学/タンザニア)は、2024年10月23日から25日にかけて産業技術総合研究所 地質調査総合センターにおいてインターンシップに参加しました。

インターンシップでは、Sr(ストロンチウム)同位体分析について学びました。Sr同位体は、地質環境や岩石の起源で起こったさまざまな地質学的プロセスを推測するための「指紋」として広く使われているため、地質学者にとって有用なツールです。Sr分析のプロセスは複雑で時間がかかるものです。このプロセスは、試料の希釈と、従来型ICP-MS分析による各試料のSr濃度測定から始まります。その後、試料はフラクションコレクターを用いた自動陽イオンクロマトグラフィーを用いて精製され、測定が行われます。この精製システムは、GSJの研究者によって最近開発された非常にユニークな技術です。この新しい技術を学ぶ経験を持てたことを嬉しく思います。地質学者および研究者としてのスキルを向上させるうえで非常に価値があると感じました。



GSJ ラボにて

* プログラム参加年度・時期の総称 (例 23A:2023年の秋【Autumn】)にプログラムに参加した研修員)